

# 通信

NO. 45  
平成28年10月号

## ビジネス総研株式会社

福岡市博多区博多駅前4丁目  
33番11-702号  
☎092-409-4177

### 今月のスケッチ



(駕与丁の池 油彩 F6)

粕屋町の駕与丁公園のスケッチ会に参加しました。



### スタ コラ

## “見守り”と “声かけ”

大隈 信夫

少年漫画雑誌で40年間連載された「こち亀」(『こちら葛飾区亀有公園前派出所』)が10月3日号(42号)をもって終了し、大きな話題となった。

この漫画の主人公・両津勘吉巡査は、無茶苦茶なところもあるが、その時々を反映し、

市民感覚と人情を備えて世俗を見つめ続けた警察官として描かれていた。

福岡には、この漫画の“両さん”とは違う“名物のお巡りさん”が実在している。

それは、福岡県警・鉄道警察隊・博多派遣所の木林恵介・巡査部長である。

木林巡査部長は、朝夕、JR博多駅の博多口付近のコンコースに立ち、「おはようございます!」「お疲れ様!」「さようなら!お気をつけて!」と駅利用者に声を掛け続け、多くの人に知られている。

この木林巡査部長は、今年3月に警部補に昇進、博多臨港署に異動するまでの8年9か月、ほぼ毎日、この声かけを続けてきた。

私の仕事の一つに、「老人介護施設におけるリスクマネジメント」がある。

多くの介護施設では、介護の場面で事故には至っていないが“ヒヤリ”とした事例や“ハット”した事例が発生する。

この“ヒヤリ”や“ハット”の事例を分析し、原因を究明し、再発を防ぐための改善策などを取りまとめて“介護の質”をアップするために「リスクマネジメント委員会」などの取り組みがすすめられている。

“ヒヤリ”“ハット”の事例検討の中で「見守りが不足して

## ペンタス

ペンタスの花言葉はロマンチックで、これからが楽しみ



な気持ちにさせてくれます。

これは、ペンタスの花びらが星のような形をしていることにちなんでつけられました。

### ペンタスの花言葉

“願い事” “希望がかなう”



いた」「今後はちゃんと見守りできるようにしたい」との報告書を、度々、目にしてきた。

「確かに“見守り”が不足していたのだろう」とは思うが、“見守り”とは、ただ漫然と見ているだけではない。

木林巡査部長が朝夕、博多駅構内で“声かけ”を続け、博多駅利用者の安全を見守る姿こそ“見守り”の本質があるように思う。

“見守り”とは「相手をしつかりと受け止める気持ちを持ち、気遣い、配慮し、異変を捉え、変化に対応すること」だ。

多くの介護施設では、利用者の皆さんの病気や加齢による“身体的リスクや精神的なリスク”に向き合い、献身的な“見守り”がおこなわれている。

この「通信」の封筒詰めと宛名シール貼りは、「障がい者の仕事をつくる」NPO法人ホーキーズの皆さんにお願いしています。丁寧な作業を心がけていますが、袋や用紙、宛名カードの材質の影響で、多少のずれやしわ、ゆがみなどはご容赦ください。



映画大好きの山ちゃん、毎回、自分の言葉で執筆します。

## 海と毒薬



監督：熊井 啓  
 出演：奥田瑛二  
 渡辺 謙  
 成田三樹夫  
 西田 健  
 神山 繁

1986年 日本ヘラルド

遠藤周作の同名小説の映画化で、原作は1945年に九州大学医学部で実際に行われた、捕虜となった米兵(B-29爆撃機搭乗員)の生体解剖事件を元としている。

脚本は69年に完成していたが、そのショッキングな内容のため製作が難航し、完成は86年となった。

映画で使用された血液は本物を使用するなど、リアリズムに溢れた本作は話題となり、ベルリン国際映画祭で銀熊賞を受賞した。

本当に戦争というものは、人間の理性や常識をいとも簡単に変貌させてしまうものであり恐ろしいものである。

その背景には、国家と軍隊の重大な責任があると強く思った。

## くまさんの コンサル日誌



似顔絵作家の小西みどりさんに描いていただきました。

## また、白紙領収書

白紙領収書がまた問題になっている。

白紙領収書の問題では、辞任せざるをえなくなった舛添前都知事の件が思い出される。

今回は、参議院予算委員会で、現在の政府の閣僚である稲田防衛大臣・菅内閣官房長官、高市総務大臣の3閣僚が、政治資金パーティで白紙領収書を受け取り、支払った金額を自らの事務所が金額を書き入れ、資金管理団体の収支報告書に添付して提出していたことが取り上げられ問題となっている。

しかし、この3閣僚は、「主催者の『委託』を受けて正確に書き込んだ、なんの問題もない」、高市氏のように「発行側の(領収書)作成方法には規定がない。国会議員は双方の事務所入出金額が記録されており、事実と異なる記入というのはまず発生しない」と開き直っている。

こんな理屈は通用しない。「朝日新聞」は「領収書は、お

金をもらった側が、いつ、いくらもらったかを払った側に証明する、受取書」だ、「それを払った方が金額を記入する、これ自体領収書ではない。」と断罪している。

さらに、同紙によると、このようなことは3閣僚だけでなく、「自民党国会議員のなかでは慣例化している疑いがある」と報じている。

政治資金規正法第11条には「当該支出の目的、金額及び年月日を記載した領収書」を義務付けているが、高市総務大臣の発言は、このことに違反し、総務大臣としての資質にも疑問が生じる。

政治の信頼を回復するためには、政治規正法違反で3閣僚が辞めることと、この問題の根源である政治資金集めのパーティを禁ずることだと思う。



## 編集後記

暑すぎた夏もようやく涼しくなりました。

それなりの年齢になり、体の動きもだんだん可動域が狭くなっているようです。

なにか始めなければと思っています。

Relationship & Partnership  
**B**ビジネス総研  
**ビジネス総研株式会社**  
 福岡市博多区博多駅前4-33-11-702  
 ☎092-409-4177 FAX092-409-4170  
 Eメール [kuma@b-souken.com](mailto:kuma@b-souken.com)  
<http://www.b-souken.com>